

1. 活動報告（事務局 記）

1月23日 北部シルバー会ご一行 20名

2月1日（土）寒い、先日の大雪以来まだまだ寒さが続く中、今日は湿地内の、草刈と丸太橋の丸太運びです。約15人位集まった、メンバーで仕事きっちりでした。

2月2日 市民活動センターにて市民パワー祭にパネル出展と説明。2月1日夕方に準備をした。（原田事務局長）

2月8日（土）水車に苔がたまり苦しそうでした。防腐剤を塗布する予定でしたが、雨で次回とします。本日は苔落としをしすっかり綺麗になりました。

2月9日（土）広島市安芸区「里山あーと村」から3名の方が見学に来られました。案内は北村・西原・田村夫婦・原田で、遊ロードからビオトープを見て回りました。

2月15日（土）作業は椎茸の原木切と植栽でした。美味しい椎茸を食べるため、かわいい？カブトムシを見たい為に頑張りました。

2月16日（日）子育て支援メッセ山口にパネル・パンフレット参加をしました。（田村会員）

2月21日（金）池田湖水質環境保全対策協議会（鹿児島県、指宿市ほか3町）から視察にこられ、市民センターで、ビオトープ制作に関する経緯、実施手法や今後の活動予定などについての説明後、現地を見学されました。

3月15日（土）今日の作業は、椎茸の原木に菌を打ち込み、原田さんの山に仮置きしました。それと駐車場の整地で溝を掘り、砂利を入れてなりました。

2. 今後の予定（事務局 記）

見学者

未定 未明 柳井川、田布施川協議会ご一行約20名御見学予定

未定 下松市 農業委員会

未定 防府中の関ご一行

未定 福岡市 農業委員会

行事

4月5日（土）総会

4月6日（日）作業

4月19日（土）作業、午後は里山自然観察隊の第1回行事

3. ビオトープ関連（ビオトープで観察される動植物）（車地 藤村 武昭 記）

ビオトープに植栽されている蘭科植物〔3〕

カキラン

全国的に分布している蘭科植物。花色が柿の実（黄橙色）の色に似ている所から名づけられたと思われる。やや明るい湿地に生え、唇弁は紅紫色、葉は2列に互生して、生育が良いと10花位花を着け、草丈は50cm位となる。6～8月頃開花する。群生している所は仲々見れない。

4. ビオトープ関連（連載ビオトープ近辺の案内）

“珍説フタマタセ その六、日吉神社”

（車地 吉富 壮介 記）

小学校体育館横に石の鳥居がある。石段を登っていくとお宮、即ち“日吉神社”。近郷近辺これほど風格、品位を備えたお宮は珍しい。古うなく新しうなく、誠にええ按配のたたずまい。祭神は...「？」 車地の誰ひとり知っているものはいない。本社は滋賀県びわ湖の畔（ほと）り。この日吉神社、もとは霜降城の厚東氏が、城の鬼門除け祈願所として、持世寺に勧進したものと聞く。攻められて落城の折り、家臣が密かに捧持（ほうじ）て横山（車地）に隠れ、再び代に出るまでの550年、沈黙の宮であった由、“神かくし”とは聞くが、人が神を隠したら何というのか聞いたことが無い。百余年前現在の地に遷宮し、改めて車地の鎮守様として、地元氏子にたてまつられ始めたが、その辺りの様子を知るは一人も居ないし、書いた物一枚もない。聞くところによるとこの神様は、男神と女神の二柱（ふたはしら）とか。男神は、まじめでおとなしく願いごとはキチンと聞いて下さるが埒（らち）があかんと。女神は感情の激しいことひとかたならず、おまけに世話好きで手八丁口八丁...。それが災いしてか、誠にバチがよう当たると。それがホントなら氏子はたまったもんじゃない。すぐ当たるバチ、何年かたって当たるバチ、すぐ分かるバチ、当分分からんバチ...。まるで車地中バチだらけの様だが、実はそうじゃない、当たるバチもあれば当たらぬバチもある。当たらんときたら「宝くじ」も当たらんし、当たる時には鯖くうても...。昭和12年ここ二俣瀬小学校に来た“井上”という校長、全校生徒を前に「日吉と書いて日吉（ひえい）と読む」と訓示。350人の生徒は黙って聞いていた。平成12年、日吉本社参拝の折り尋ねたら「日吉の吉は善し悪しの善し、善（ええ）悪（わる）いの吉（ええ）とも読む」いきおい「日吉（ひええ）神社もよるしい」ということ。六十余年前「日吉（ひええ）」と読ませた校長も立派なら、今日まで憶えておったこの氏子もまた...。ま、世

間では「〇〇のひとつ覚え」ともいうが。 車地の鎮守様・日吉神社…。神官をはじめ車地の誰ひとり「日吉（ひええ）神社」と呼ぶ者はいない、が、吉（ええ）神様と想っている。

6. 会員の声

2年前、私は、宇部に越してきてすぐ、週末のピオトープ制作作業に参加させていただくこととなりました。初めは『ピオトープ』という言葉もよく分からないままの参加だったのですが、作業日の朝と夕方でガラリと姿が変わるほど、猛スピードで完成に近づいていくピオトープに、ただただ、感動していました。そして、何よりも驚いたのは、会員の方々の器用さです。作業の合間に、「・・・が欲しいねー」という会話がなされたかと思えば、いつの間にかそれが作られています。何か欲しいときは、作るのではなくて既製品を探す、という生活に慣れていた私にとっては、かなり衝撃的でした。それから、多くの方の博識ぶり。トンボは『とんぼ』、蝶は『ちょうちょ』でしかなかった私ですが、動植物の様々な名前を教えていただくことができました。名前がカタカナの羅列のように聞こえ、聞いた言葉のほんのヒトカケラくらいしか頭には残っていないのですが、これから、少しずつでも覚えていきたいと思っています。 昨年末、正式に会員にならせていただけましたので、できるだけ作業に参加したいと思っています。もの覚えの悪い私ですが、これからも色々とお教えていただければ嬉しいです。 （中村 恭子 記）

7. 来訪者の声 （東屋のノートより一部抜粋）

今回はありません。

8. 会よりの連絡事項

- 1 - 脱会者、入会者のご案内
野田康司さんが退会されました。

9. 編集後記

雨が、降ったりすると、まだまだ寒い此の頃ですが、それでも気温には関係なく、季節のものが、順番に 顔を出して、少し 驚いたり 喜んだりしています。ある日、小さい無数の葉が、庭の隅から 一斉に湧き出る様に出てきて、これは、何か？と見ていたら、段々 成長して、仏の座になりました。そう言えば、去年この辺りに、仏の座が、沢山あったと思い出しました。暫くしたら、側の 水仙の邪魔になるので、抜いてしまったのですが、忘れっぽいのも、日々新たなり とは、ちょっと違うのでしょうか、毎春 此の頃には、これは 何？を繰り返して、楽しみを見つけています。菜花の種を蒔いて、花を楽しんで、其のままにしていたら、こぼれ種で、去年と同じ様に、今年も咲いています。手を掛けないでいると、1年草も 多年草 同然で、手抜きで楽しめます。水栽培に失敗した、ヒヤシンスも 土に埋めていたら、今年は蕾が付いています。水仙は、ほぼ終わったのですが、これからは 口紅水仙が 咲くでしょう。日本水仙、ラッパ水仙、口紅水仙と、順番どおりに咲くのも、感心です。梅と桜の端境期の今でも、もう咲く準備終了 か、間近な花 花で、目が離せません。二俣瀬ピオトープと、我が家の庭は 比べようも無いのですが、私が 多少 手を出している点で、どちらも 大切に育てて、今年も 見守って行きたいものです。この前、植えつけた椎茸菌が、これから どの様に椎茸らしくなって いくのか、それも 楽しみの1つです。 （大村 美智子 記）